

1. 目的

医療依存度の高い方の在宅療養が増加する中、介護サービス、とりわけ在宅での生活を支えるケアマネージャーあるいはヘルパー職にとって医療との連携は不可欠だが、在宅医療の知識を実際に学ぶ機会はほとんどないため、その機会創出を目的とする、と同時に、医療と介護のシームレスなフォロー態勢を構築することで高齢者の自立した生活を支える環境を整えることを、至るところの目的とする。

2. 内容

在宅医療についての知識あるいは手技等を、講義形式で、1カ月1回のペースで全6回実施した。

・講義日程・内容・担当

回次	項目	内 容
第1回	テーマ	在宅および施設での看取りと支援について
	日 程	平成22年3月19日（木）19：00～20：00
	講演者	医療法人ゆうの森理事長 永井康徳
第2回	テーマ	介護業務と医療関連行為
	日 程	平成22年4月15日（木）19：00～20：00
	講演者	たんぼぼクリニック院長 矢野博文
第3回	テーマ	介護職のできるリハビリとは
	日 程	平成22年5月20日（木）19：00～20：00
	講演者	たんぼぼクリニック作業療法士 畑野仁志
第4回	テーマ	介護職が知っておきたい医療知識
	日 程	平成22年6月17日（木）19：00～20：00
	講演者	たんぼぼ道後クリニック院長 森本尚史
第5回	テーマ	在宅ハイテクケア～実際に見て触って 気管カニューレ・在宅酸素・吸引器・胃ろうチューブ・人工呼吸器・中心静脈栄養 ～
	日 程	平成22年7月15日（木）19：00～20：00
	講演者	たんぼぼクリニック副院長 亀井修 たんぼぼクリニック医師 福田勝英
第6回	テーマ	吸引手技の实地指導～吸引モデルを使って 救急蘇生～AEDの取扱
	日 程	平成22年8月20日（金）19：00～20：00
	講演者	たんぼぼクリニック院長 矢野博文 たんぼぼクリニック医師 井上静香

・会場 愛媛県県民文化会館（ひめぎんホール）別館第11会議室

3. 受講状況

- ・ 応募者数 60事業所 228名
- ・ 受講許可数 55事業所 93名

4. 総括

・ 応募について

受講者の応募については、ホームページならびに日頃やり取りのある介護事業所へのチラシ送付と云った限定的な告知であったにもかかわらず、受講許可数の2.5倍を越す多くの応募を得た。

ケアマネジャー・ヘルパーと云った介護職に、如何にこのテーマに対しての興味と必要性が高いかを思い知らされるような応募状況であった。

そういった状況から、より多くの事業所の方に広範に受講頂けるよう配慮し、受講許可者を決定した。

・ 受講者感想

毎回、講義終了後にアンケートを実施。記入の時間がほとんど無いにもかかわらず、毎回極めて高い回収率であった。そのほとんどは、「初めて知った」「これで安心して日頃の業務に取り組める」「大変役に立った」「こう云う機会をもっと増やしてほしい」と云った主旨であったが、これは裏を返すと、医療的な知識や介護職に求められる医療行為（吸引等）への不安が如何に強いかと云うことの証左でもあると感じられた。

・ 所見

毎回の講義実施後、提出されたアンケートを読みながら、今後、在宅医療が一層浸透し、より多くの人達が安心して在宅で過ごすことができるようになるには、重度の人を受け入れることのできる医療体制の拡がりと共に、介護においても医療的依存度の高いケースへのフォロー態勢を構築していくことが不可欠であると強く感じた。

今回の講義を一つのきっかけとし、医療と介護のシームレスな連携関係を作っていくよう、今後とも様々な取り組みを行い、ひとりでも多くの方が、在宅で安心して過ごせるような地域社会の実現を目指していきたいと考える。

最後となりますが、今回このような取り組みを実現するに援助頂いた（財）在宅医療助成勇美記念財団に対して心より感謝し、この取り組みの報告とさせていただきたいと思えます。